



## 5段階に分類される子育ての節目

子育てには、いくつかの節目(ライフステージ)があります。本稿では、それぞれの節目に応じた指導のポイントについて考えたいと思います。子どもの成長の過程はまちまちで個性があり一律ではありませんから、おおよその目安として考えていただければと思います。

子育てのライフステージ	
I 幼児期	0~5歳
II 少年前期	～12歳
III 少年後期	～15歳
IV 青年前期	～18歳
V 青年後期	～22歳

生まれてから  
22歳までを  
子育ての全  
期間と想定  
し、ライフス  
テージを5段  
階(I～V)  
に分類します。

ちなみに少年前期・後期が義務教育で、青年前期が高等学校及び専門学校①、青年後期が大学及び専門学校②に該当します。では、親子の縁が最も深い幼児期から話を進めましょう。

### 1 動物から人間へ：『しつけ』という教育的手段によって社会生活に必要な生活習慣を身に付ける

このステージでは、左記の4つの項目を達成して、豊かな人生を築くための基礎的素養を身に付けることが主な目標となります。

このステージでは、左記の4つの項目を達成して、豊かな人生を築くための基礎的素養を身に付けることが主な目標となります。

### 2 幼児期(0～5歳)

### 3 様々な『遊び』から、空間認知能力などの基礎的能力を養う

このステージの子どもは、様々な能力が自然と身に付く世代でもあります。石ころ遊びから算数を学び、ボール遊びから現実的な距離感を知り、積み木遊びから立体の感覚をつかみ、周りとの会話から言葉を覚え、小鳥のさえずりから音楽を学びます。このような遊びの体験によって、様々な事象への知的欲求が高まり、将来の才能の開花につながります。

### 4 読み聞かせによつて、感情豊かな視野の広い心を育てる

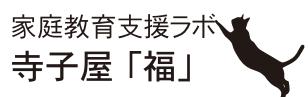
我が子が眠る前のわずかな時間に読み聞かせを実践しましょう。子どもの好みに応じて様々なジャンルの絵本を読んであげましょう。心豊かな望ましい人間性を育てるのが目的ですが、学習の基本となる読解力も無理なく身に付きます。この力は将来の学力向上に寄与するでしょう。

幼児期は人生で最も親子の関係が深い時期であり、最も幸福な時期かもしれません。幸福な人生には欠かせない『豊かで思いやりに満ちた心』は、こうした親子の望ましい教育環境から生まれるものです。

紙面の都合で要点だけになってしまいましたが、詳細は後述します。お楽しみに！

## わが子の能力を最大限に發揮させる子育ての極意

- 2 大自然や動植物とのふれあいから、命の大切さや雄大な自然の息吹を感じ取る
- 3 親子や仲間での大自然とのふれあいは、極めて教育的価値の高い営みです。



家庭教育支援ラボ  
**寺子屋「福」**  
宇都宮市 滝の原 1-1-1  
株式会社ダイワ内  
Tel:028-633-4534  
<http://kosodateclub753.com>

短時間でも、近くの公園や野山で密度の濃いふれあいを心がけましょう。猫や犬、小鳥などの動物や、海や山など雄大な大自然とのふれあいから命や自然の大切さを学びます。また、親同士の何気ない会話からも人間社会のルールが学べます。そのような様々な自然との関わりが我が子の人格の形成に大きく関わります。

